

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要した 経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町立認定こども園運営事業	山北町	11,190,000	11,190,000	総事業費 12,510,162 (実施主体(市町村)の総事業費)

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町立認定こども園運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		山北町	
交付金事業実施場所	山北町山北1266番地(やまっこ園舎)、1943番地3(わかば園舎)		
交付金事業の概要	町立認定こども園に勤務する保育士に9月～2月分の給与支給		
総事業費	12,510,162	交付金充当額	11,190,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	11,190,000
交付金事業の成果目標	全国的に保育士の確保が難しくなっている中で今年度より、町立認定こども園として保育を行うため、幼稚園教諭と保育士資格を持った正規職員を配置するにあたり、交付金の充当により必要な給与支給額が確保でき、全てのクラスへ正規職員の保育教諭を配置することができる。また、正規職員の保育教諭が確保できることで入園希望者全てを受け入れることが可能となり、待機児童ゼロで多くの居宅外で働くことを常態としている保護者や家庭において十分な保育をすることができない児童に対し、その保護者にかわり、充実した保育及び教育の実施と、安定した運営が図られる。		
交付金事業の成果指標	本交付金事業によって成果目標を達成するには、保育教諭数の保持及び保育教諭の質の向上につながる処遇改善が必要となります。本交付金を活用し、一部給与改善の取組を行うことで保育教諭の確保を図ることから、当該こども園の正規職員の配置数が職員配置基準を下回らないようにするため、平成29年度も同水準を維持することとします。また、この取組を広くPRし、保育教諭の確保に努めます。(現状配置基準14名、職員数14名)		
交付金事業の成果及び評価	町立認定こども園で保育及び教育を行うにあたり、交付金を充当することにより必要給与支給額が確保できた結果、必要な保育教諭数を確保することができ、当該こども園の正規職員の職員配置基準(職員数14名)を維持することが出来ました。また、その結果として成果目標で掲げた待機児童ゼロを達成するとともに、基本的には年間を通じて職員が同じ園児の担任となり、こども園における保護者の安心の確保、充実した保育及び教育の実施と、安定した運営が図られました。		

交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	保育教諭の雇用	雇用	保育教諭 6 名	12, 510, 162
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				平成34年度

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第 1 条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
 - (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
 - (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。